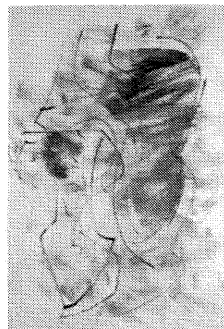


展示室1 小特集：セント・アイヴスの美術家たち



バーバラ・ヘップワース「ふたつのフォルム」

セント・アイヴスは、イギリス最西南部コーン・ウォール地方の小さな港町です。この土地は、鉄道が開通した19世紀以来多くの芸術家たちが移り住み、芸術村として知られています。とりわけ1930年代末以降には、ベン・ニコルソンやバーバラ・ヘップワースたちがセント・アイヴスを舞台に独自の抽象表現を打ち出し、国際的な活躍をくり広げました。また、1920年代初頭には、イギリス人のバーナード・リーチと日本人の浜田庄司が、この地で共に陶芸活動を行っています。多くの美術家たちが魅了されたのは、セント・アイヴスの冬でも比較的温暖な気候と、美しい海岸線に囲まれた風光明媚な土地柄でした。

今回は、コレクションの中からセント・アイヴスにゆかりの深い美術家たちの作品をご覧ください。

| 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 |
|------------------------|---------------------|----------|------------------------|
| リチャード・ウィルソン | キケロの別荘 | | 油彩・キャンバス |
| ジョン・マーティン | フレッシュウォーター・ベイ | 1815頃 | 油彩・キャンバス |
| ジョン・クローム | ヘレスドンの眺め | 1807頃 | 油彩・キャンバス |
| トマス・ゲインズボロ | 荷馬車のある丘陵地帯の森の風景 | 1745～46 | 油彩・キャンバス |
| ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー | カンバーランド州のコールダー・ブリッジ | 1810 | 油彩・キャンバス |
| ジョン・コンスタブル | デダムの谷 | 1802 | 油彩・キャンバス |
| サー・ジョシュア・レイノルズ | エグリントン伯爵夫人ジェーンの肖像 | 1777 | 油彩・キャンバス |
| ホーガース・ウィリアム | サミュエル・マーティンの肖像 | 1758～60頃 | 油彩・キャンバス |
| トマス・ゲインズボロ | オース夫人の肖像 | 1767 | 油彩・キャンバス |
| サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ | フローラ | 1833～98 | 油彩・キャンバス |
| アルバート・ジョセフ・ムーア | 黄色いマーガレット | 1881 | 油彩・キャンバス |
| ベン・ニコルソン | ワン・イン・ワン | 1978 | ミクストメディア・メソナイトに裏打ちされた紙 |
| ○セント・アイヴスの美術家たち | | | |
| バーバラ・ヘップワース | 石柱（パヴァーヌ） | 1953 | 油彩・パネル |
| バーバラ・ヘップワース | ふたつのフォルム | 1958 | 油彩・ボード |
| バーバラ・ヘップワース | オルフェウス（マケット2） | 1956 | 真鍮、糸 |
| バーナード・リーチ | 北京の前門 | 1918 | ソフトグラウンドエッチング・紙 |
| バーナード・リーチ | きこり | | 油彩・紙 |
| バーナード・リーチ | 鉄絵茶碗 | | ストーンウェア |
| バーナード・リーチ | 白磁魚絵皿 | 1962 | 磁器 |
| 浜田庄司 | 鉛釉花打茶碗 | | 陶器 |
| 浜田庄司 | 白釉鉄絵茶碗 | | ストーンウェア |

展示室2 油絵に見る「東洋」



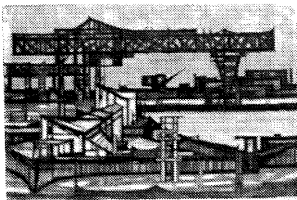
石川寅治「房総風景」

明治時代にはいり日本で本格的に広まった油絵の技法は、その写実性をもって有効なものとして残っていました。風景、人物、静物など、画家たちは苦心して油絵の技法を取得して迫真的な作品を残しました。国粹主義の時代の流れの中で一時厳しい時代を迎えた洋画壇でしたが、美術学校が開設され教育制度が整い、西洋への留学も進み、印象派や後期印象派、フォービズムやキュビズムなど新たな西洋の美術が紹介されるにつれ、洋画家たちは新たな表現を目指していきました。一方で、東洋画の持つ気韻（気の働き）や、南画など、東洋古来の美にも目が向けられました。

ここでは、主に日本を描いた油絵を見ながら、日本人がどのように油絵を消化していったか、また逆にどのように「東洋」を油絵の中に取り入れていったかを見ていきたいと思います。

| 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 |
|-------------|----------|------------------|----------|
| ○油絵の効用 | | | |
| 高橋由一 | 風景（鳥海山） | 1880年代 | 油彩・キャンバス |
| 諫山麗吉 | 甲州猿橋 | | 油彩・キャンバス |
| 五百城文哉 | 真如堂図 | 1897（明治30） | 油彩・キャンバス |
| 原 撫松 | 横山孫一郎像 | 1899（明治32） | 油彩・キャンバス |
| 原 撫松 | 横山勇子像 | 1899（明治32） | 油彩・キャンバス |
| 伊藤快彦 | 夏の静物 | | 油彩・板 |
| ○描かれた日本 | | | |
| 浅井 忠 | 収穫 | 1893（明治26）頃 | 油彩・紙、板 |
| 広瀬孝次 | 田園景色 | 1890（明治23） | 油彩・キャンバス |
| 白滝幾之助 | 編物をする少女 | 1895（明治28） | 油彩・キャンバス |
| 木村荘八 | 祖母の顔 | 1916（大正5） | 油彩・板 |
| 原撫松 | 奈良の夕 | 1911（明治44） | 油彩・キャンバス |
| ○新たな表現をめざして | | | |
| 牧野虎雄 | 郊外の春 | 1919（大正8） | 油彩・キャンバス |
| 中沢弘光 | 灯（加茂川夕涼） | 1914（大正3） | 油彩・キャンバス |
| 斎藤与里 | 海辺風景 | | 油彩・キャンバス |
| 石川寅治 | 房総風景 | 1923～24（大正12～13） | 油彩・キャンバス |
| 南薫造 | 瀬戸内海風景 | 1948（昭和23） | 油彩・キャンバス |
| 横井弘三 | 子供 | | 油彩・キャンバス |
| 横井弘三 | 料治朝鳴氏の家族 | 1940（昭和15）頃 | 油彩・合板 |
| 北川民次 | 芸者 | 1941（昭和16） | 油彩・キャンバス |

展示室3 日本画の美 —その色とかたち—



黒澤吉蔵「河の附近の風景」

明治以降の近代日本画は、それ以前の日本の古典絵画を見直しそれらを深く理解したうえで、作家独自の解釈の独自性を発揮しようという試みがおこなわれてきました。

今回は、日本画のもつ美しさを、郡山市ゆかりの日本画家たちの作品を中心に紹介しています。色彩あふれる華やかな装飾性、あるいは伝統的な大和絵の手法に基づいた流麗な筆線、また、幾層にも重ねられた日本画の顔料独特の微妙な階調など、さまざまな表現や技法をご鑑賞ください。

| 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寄贈 |
|-------|---------|------------|--------|---------|
| 梶田半古 | 蝶 | 明治40年代 | 岩彩・絹 | |
| 荻生天泉 | 行成卿 | 1932（昭和7） | 岩彩・紙 | |
| 黒澤吉蔵 | 河の附近の風景 | 1956（昭和31） | 岩彩、箔・紙 | 黒澤吉蔵氏寄贈 |
| 黒澤吉蔵 | 冬 | 1964（昭和39） | 岩彩・紙 | 黒澤吉蔵氏寄贈 |
| 黒澤吉蔵 | 大和箸中 | 1980（昭和55） | 岩彩・紙 | |
| 玉村方久斗 | 松に鳩 | 1924（大正13） | 岩彩・紙 | |
| 玉村方久斗 | 紅梅・菊 | 1924（大正13） | 岩彩・紙 | |
| 常盤大空 | 古代頌 | 1960（昭和35） | 岩彩・紙 | 常磐房子氏寄贈 |
| 安藤重春 | 帰去来 | 1972（昭和47） | 岩彩・紙 | 安藤重春氏寄贈 |
| 安藤重春 | 雨の華 | 1979（昭和54） | 岩彩・紙 | |

展示室4① 明治の石版画



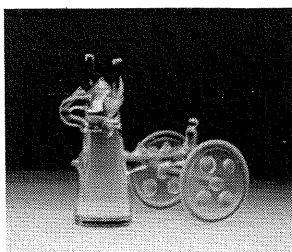
岡村政子「梅若丸」

西洋画が一般の人々の目にまだ触れることが少なかった明治時代。西洋画家たちは、今のプロマイドやピンナップの役割を果たしていた額絵や新聞付録、本の挿絵などの原画を描くことで生計を立てていました。それらは木版画や石版画になって流布されましたが、中でも、西洋から紹介されたばかりの石版画は、木版画よりも陰影がつけやすいということで、明治の10年代からたいへんな人気を誇りました。

ここでは、石版画の原画を描いたことで知られる亀井至一、岡村政子というふたりの西洋画家を中心に紹介します。

| 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 |
|----------|--------------------|-------------|----------------------|
| 亀井至一(作画) | 観古図説 陶器之部一 | 1876(明治9)刊 | 砂目石版、手彩色・紙、本 発行：蜷川式胤 |
| 亀井至一(作画) | 観古図説 陶器之部二 | 1876(明治9)刊 | 砂目石版、手彩色・紙、本 発行：蜷川式胤 |
| 亀井至一(作画) | 観古図説 陶器之部三 | 1877(明治10)刊 | 砂目石版、手彩色・紙、本 発行：蜷川式胤 |
| 亀井至一(作画) | 観古図説 陶器之部四 | 1877(明治10)刊 | 砂目石版、手彩色・紙、本 発行：蜷川式胤 |
| 亀井至一 | 東京下谷芸妓小幾 | 1883(明治16) | 石版、手彩色・紙 |
| 亀井至一 | 芸妓之図 | 1882(明治15) | 石版、手彩色・紙 |
| 亀井至一 | 東京隅田堤之景 | 1882(明治15) | 石版・紙 |
| 亀井至一 | 東京不忍弁天景 | 1882(明治15) | 石版・紙 |
| 亀井至一 | 車駕臨御大坂陸軍臨時病院親自吊慰之図 | 1878(明治11) | 石版・紙 |
| 亀井至一 | 常盤雪中抱狐出図 | 1882(明治15) | 石版、手彩色・紙 |
| 疋田敬蔵 | 北海道小樽港有幌之景 | 1881(明治14) | 石版・紙 |
| 守住勇魚 | 住吉神社之真景 | 1879(明治12)頃 | 石版・紙 |
| 原田直次郎 | 大江山鬼狩道行之図 | 1891(明治24) | 石版・紙 |
| 和田英作 | こだま | 1904(明治37) | 石版・紙 |
| 和田英作 | 昭憲皇太后像 | 1911(明治44) | 石版・紙 |
| 鹿子木孟郎 | 馬上の陛下 | 1905(明治38) | 石版・紙 |
| 岡田三郎助 | ゆびわ | 1908(明治41) | 石版・紙 |
| 岡村政子(推定) | 愛犬と少女 | 1898(明治31) | 石版・紙 |
| 岡村政子(推定) | 枝を持つ娘 | 1891(明治24) | 石版・紙 |
| 岡村政子 | ワシントン | 1890(明治23) | 石版・紙 |
| 岡村政子 | 三女の友愛 | 1889(明治22) | 石版・紙 |
| 岡村政子 | 板垣伯之肖像 | 1891(明治24) | 石版・紙 |
| 岡村政子 | 親愛ノ姉幼児喜ビノ図 | 1888(明治21) | 石版、手彩色・紙 |
| 岡村政子 | 牛若丸 | 1889(明治22) | 石版、手彩色・紙 |
| 岡村政子 | 梅若丸 | 1889(明治22) | 石版、手彩色・紙 |
| 岡村政子 | きよひめ | 1888(明治21) | 石版、手彩色・紙 |
| 岡村政子 | みなつる姫 | 1889(明治22) | 石版、手彩色・紙 |
| 岡村政子 | 仙女伏姫幽窟において読経の図 | 1889(明治22) | 石版、手彩色・紙 |
| 岡村政子 | 忠臣義士 | 1891(明治24) | 石版・紙 |
| 床次正精 | 西郷隆盛肖像 | 1887(明治20) | 石版・紙 |

展示室4② 佐藤潤四郎の工芸



佐藤潤四郎「オブジェ・羊車」

郡山市出身の佐藤潤四郎(1907年～1988年)は、日本の近代ガラスを語るうえで重要な美術工芸家です。使いやすさを追求したシンプルなかたちと、温もりを感じさせるデザインをもった彼の作品は、今なお多くの人々に愛され続けています。

当館では、開館準備時より、潤四郎の業績と作品の調査に着手し、作品収集を進めてきました。今回は平成19年度に寄贈を受けた作品のうち、ガラス・レリーフの作品2点と陶器1点を初めて展示し、花器やワイングラス、タンブラーや舍利器など、潤四郎が手がけた多様な工芸作品をご紹介します。

| 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寄贈 |
|-------|------------------------|-------------------|--------------------|-------------|
| 佐藤潤四郎 | 硝子の女神 | 1982 (昭和57) | ガラス・レリーフ | 田淵十一氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | 赤いガラスの神様 | | ガラス・レリーフ | 田淵十一氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | 鳥文大皿 | | 陶器 | 田淵十一氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | 奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器(控) No.1 | 1980 (昭和55) | ガラス/宙吹・プランツ | |
| 佐藤潤四郎 | 奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー(控) | 1984 (昭和59) | ガラス/宙吹・プランツ、雲母入 | |
| 佐藤潤四郎 | オブジェ | 1984 (昭和59) | ガラス/エッチング | |
| 佐藤潤四郎 | オブジェ・これ以上芽の出ない世界 | 1980-82 (昭和55-57) | ガラス/宙吹 | |
| 佐藤潤四郎 | オブジェ・ガラスを吹く人 | | 鍛鉄 | |
| 佐藤潤四郎 | オブジェ・魚拓 | 1972 (昭和47) 頃 | ガラス/宙吹 | |
| 佐藤潤四郎 | オブジェ・羊車 | 1980-82 (昭和55-57) | ガラス/宙吹・プランツ | |
| 佐藤潤四郎 | 置物・花 | 1954 (昭和29) | ガラス/サンドブラスト | |
| 佐藤潤四郎 | 花器 | 1986 (昭和61) | ガラス/鍛鉄吹込 | |
| 佐藤潤四郎 | 花器・灯もつけて | | ガラス/鍛鉄吹込 | |
| 佐藤潤四郎 | 花器・一寸考えて | | ガラス/宙吹 | |
| 佐藤潤四郎 | 花器・穴があいてちょっと考えた | 1980-82 (昭和55-57) | ガラス/宙吹・カット | |
| 佐藤潤四郎 | 花器・何をしようか | 1986 (昭和61) | ガラス/宙吹 | |
| 佐藤潤四郎 | ブルー花器 | | ガラス/ドローイング | |
| 佐藤潤四郎 | 灰皿 | | ガラス/型押し | |
| 佐藤潤四郎 | ルーマー杯・大好きな形 | | ガラス/宙吹・プランツ | |
| 佐藤潤四郎 | ルーマー杯・なみなみのワインを | | ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ | |
| 佐藤潤四郎 | 大杯・ガラスを拭く人 | 1986 (昭和61) | ガラス/宙吹・手描き、プランツ | 佐藤久枝氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | 大杯・ワインを造る | | ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ | |
| 佐藤潤四郎 | タンブラー | | ガラス/型吹、プランツ | 佐藤久枝氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | 硯屏・いのしし | 1966 (昭和41) | ガラス/サンドキャスト | 木村四郎氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | ペーパーウェイト・ペガサス | | ガラス/サンドキャスト | 木村四郎氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | 硯屏・ガラスの神様(複製) | | ガラス/サンドキャスト | 木村四郎氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | オブジェ・仏足跡ロータス | 1984 (昭和59) | ガラス/エッチング | |
| 佐藤潤四郎 | スーパーニッカ・手吹きボトル | 1962 (昭和37) | ガラス/宙吹 | 川崎清氏寄贈 |
| 佐藤潤四郎 | ウイスキーボトル『インペリアル』 | | ガラス/機械生産 | サントリー株式会社提供 |
| 佐藤潤四郎 | ワイングラス | | ガラス/宙吹・グラヴェール、プランツ | |

ロビー展示 彫刻・他

| 作者名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 寄贈 |
|---------------|-----------|-------------------|-------------|----------|
| ●1階展示ロビー | | | | |
| アントニー・ゴームリー | 量子雲ⅩⅩⅢ | 2000 | ステンレス、スチール棒 | |
| アントニー・ゴームリー | 領域ⅩⅢ | 2000 | ステンレス、スチール棒 | |
| 細川宗英 | 装飾古墳シリーズ9 | 1963 (昭和38) | セメント | 細川明子氏寄贈 |
| ●1階サブエントランス | | | | |
| 笠置季男 | 躍進 | 1958 (昭和33) | セメント | |
| ●2階展示ロビー | | | | |
| 佐藤潤四郎 | 陶器で仏足跡1・2 | | 陶器 | 寄託作品 |
| 佐藤潤四郎 | 石で仏足跡 | | 石 | 寄託作品 |
| 柳原義達 | 女の首 | 1958 (昭和33) | ブロンズ | |
| アリストテード・マイヨール | もの思い | 1930 | ブロンズ | 大高善二郎氏寄贈 |
| 山本正道 | 帽子を被る男の肖像 | 1970~74 (昭和45~49) | ブロンズ | |
| 舟越保武 | 少女 | 1956 (昭和31) | 砂岩 | |
| ●屋外 | | | | |
| バリー・フラナガン | 野兎と鐘 | 1988 | ブロンズ | |

※作品は都合により一部展示替えを行うことがあります。